街頭指導研修をしました！

日頃から通学路で子どもたちを見守ってくださる皆さんに、街頭指導の研修を行いました。
「守りたい！」という気持ちが強く、無理に車を止めるために車道に出たり、子どもたちを急がせたりすると、かえって危険になることがあります。研修では、安全に子どもたちが自分で確認することをあたたかく見守る大切さを確認しました。

研修センターだより第 72 号でもお伝えしているとおり、子どもたち、そして皆さん自身の安全が大切です。
詳しく知りたい方は、ホームページから過去の「研修センターだより」もご覧いただけます。





街頭指導のポイント

- 目立つ服装で、動きやすい靴を。両手が使えるようにしましょう。
- 安全な場所で、横断歩道の右側に子どもと車の両方が見えるように立ちます。待つときは旗を左手に持ち、飛び出しを防ぎます。渡るときは右手に持ちかえましょう。
- 子どもたち自身にも安全確認をしてもらいましょう。
「右・左ちゃんと見てから渡ろうね」と声をかける。



・子どもの視線を遮らない。
・子どもに確認させないまま渡らせない。「早く」「急いで」など言わない。
・車に背を向けない。



街頭指導のときは、車に気付いてもらえるように旗を振ってアピールしましょう。そして、止まってくれた運転手さんには「止まってくれてありがとう」と伝えることも大切です。
ドライバーは、渡ろうとしている歩行者がいれば必ず止まりましょう。